

各イベント開催内容

10/26

2018「たんけんの秋」

と き 10月26日(金) 8:00~18:00
と ころ 上勝町・勝浦町
主 催 徳島県退職者連合
共 催 四国労働金庫
問合せ先 ☎088-655-4105
参加費 2,000円
参加人数 36名



概 要

徳島県退職者連合は、「県民と働く者のとくしまフェスタ」行事に賛同し、今年も10月26日(金)に四国労働金庫と共催で「たんけんの秋」を実施しました。

高齢者は年を重ねるごとに運動する機会が少なくなります。それによって高齢化が進すみ身体の老化が懸念されてきました。退職者連合は、これまでも健康第一として「生き生きと安心して暮らせる社会」を合い言葉に運動を進めてきました。その一つに、健康で楽しい1日を過ごすための「たんけんの秋」の実施でした。今年も「彩りの町上勝町」の殿河内溪谷と田野々の棚田を散策することにしました。

当日は、天候にも恵まれ午前8時50分徳島駅を出発し一路、上勝町へ目指しました。10時過ぎに月ヶ谷温泉に到着し休憩後、2018年7月に完成した「いろどり橋」を散歩しました。長さ62m、高さ15m、幅員1,5mの吊り橋を恐る恐る渡りました。吊り橋からは勝浦川の清流が眼下に見られ感動しました。

午後は、2班に分かれ、1班は殿河内溪谷を散策しました。まだ、紅葉には少し早かったけれど、所々で赤く色づいた紅葉や黄色いブナ林等を見ながら秋の山々を楽しみました。2班は田野々の棚田を散策しました。「日本で最も美しい村 連合フォトコンテストかおり風景100選」に選ばれている田野々棚田からは上勝町が幻想的にみえる風景を観賞しました。

参加者からは、本当に楽しい1日を過ごすことができた。何年ぶりかに山に来て身体を動かし、良かった。来年も是非実施して欲しいとのご意見を頂きました。

10/28

あい♡あいファミサポフェスティバル2018

と き 10月28日(日) 10:00~14:00
と ころ 四国大学 体育館
主 催 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク
県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
問合せ先 ☎088-655-2940
参加費 無料
参加人数 約2,000名

概 要

さわやかな秋晴れの日曜日。昨年度、包括的連携協定を締結した四国大学にて「あい♡あいファミサポフェスティバル2018」を開催しました。当日は、朝から開場を待つ行列ができるほどで、開場と同時に体育館内は満員となりました。

財団、杉本専務理事と四国大学、松重学長の挨拶の後、開会しました。

今年度の会場内は、各ファミサポが工夫を凝らした遊びのコーナーや、関係団体からの展示や子ども向けブースで、今年度のテーマである「ハロウィン」にちなんで、ブースを訪れた子ども達にはお菓子のプレゼントがありました。また、体育館中央では「クリエイターズマーケット」が開催され、30店を超える出店で賑わいました。ステージでは、子ども達に大人気の「渦戦士エディ」が午前・午後の2部上演し子どもたちが大きな声援を送りました。

今年度は四国大学との共催で、学生による遊びのコーナーや、親子ダンスのステージなどもあり、最後には「お楽しみ抽選会」や「おかしなげ」で盛り上がり、楽しく過ごしていただいた一日となりました。



満員の会場内



クリエイターズマーケット



渦戦士エディ



親子ダンス



おかしなげ



おたのしみ抽選会

11/3

県民と働く者のとくしまフェスタ2018開会式典&第11回わーくぴあフェスタ

と き	11月3日(土・祝) 10:00~15:00
と ころ	ヒューマンわーくぴあ徳島全館
主 催	公益社団法人徳島県労働者福祉協議会、県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
問合せ先	☎088-625-8387
参加費	無料
参加人数	開会式典150名、わーくぴあフェスタ200名
概 要	素人のど自慢、夏川寿里亜歌謡ショー、福祉事業団体出店



オープニングアクト

『みさと笛の会』の演奏



主催者挨拶



[来賓]

徳島県	後藤田 博	副知事
徳島市	平山 元	第一副市長
徳島労働局	川崎 健	労働基準部長
徳島県経営者協会	濱田 行雄	専務理事



開会宣言

素人のど自慢大会



夏川寿里亜歌謡ショー

大川かずのり歌謡ショー

開会式典は、「みさと笛の会」の心に染み入る音色で幕を開け、主催者挨拶に続き、後藤田博徳島県副知事をはじめ、平山元徳島市第一副市长、川崎健徳島労働局労働基準部長、濱田行雄徳島県経営者協会専務理事からご来賓挨拶をいただきました。そのあと開会宣言を行い、第11回わーくびあフェスタ「素人のど自慢大会」に移りました。

のど自慢大会では、96歳までの51組の方々が、この日のためにと趣向を凝らした衣装に身を包み、練習を重ねた歌の数々を思いを込めて熱唱され、200人程の観客から大きな拍手を浴びていました。

午前の部と午後の部をはさんで、審査員長の夏川寿里亜先生の歌謡ショーが開催され、芸能生活52年の年輪を感じる胸に響く歌声に皆、聴き入っていました。

またゲストとして、徳島県出身の演歌歌手、大川かずのりさんがステージに立ち「親父の漁場」他を熱唱し、会場を大いに盛り上げました。

出店くださったNPO、福祉事業団体が用意したお弁当や、おでん、焼きそば、サンドイッチなどの食べ物や、産直野菜や果物もお昼過ぎには完売し、団体の皆様も大変喜んでくださいました。

参加者の皆様のアンケートからは、「のど自慢大会が楽しかった。いろんな人の歌がきけて良かった」「職種・年齢と色々千差万別で楽しかったです」「家族的であたたかと、接客していただきとても幸せな1日を過ごさせていただきました」「今後もこの行事が続きますように」など、主催者冥利に尽きるうれしい感想をいただきました。

《素人のど自慢大会 結果》

優勝 川西美智代

準優勝 松浦 浩子

第3位 板東 孝



表彰式

11/10

第23回自然とふれあう健康ウォーク in 美波

- と き 11月10日(土) 9:00~12:00
と ころ 美波町 竜宮公園(日和佐総合体育館)
主 催 徳島南部ライフサポートセンター
共 催 全労済徳島推進本部、四国労働金庫阿南支店、連合徳島南部地域協議会
問合せ先 ☎0884-24-9501
参加費 無料
参加人数 290名
概 要 ◎青空が広がる爽やかなウォーク日和の中、約290人の方が参加してくれました。

すべての県民の皆さんが、生活にゆとりを持ち、充実した自由な時間と潤いのある生活を送る為の余暇推進事業「県民と働く者のとくしまフェスタ」の一環として阿南・那賀・海部地区恒例の「自然とふれあう健康ウォーク」が今年も美波町において開催され、青空が広がる爽やかなウォーク日和の中、約290人の方が参加してくれました。

四国の道・千羽海崖を望むみちコース(約3.5キロ)では、労福協・川越会長の「スタート!」という掛け声とともに出発。最初の10分間は急な坂道が続きましたが、指ノ鼻展望台に着くとそれぞれ休憩。息を整えたり、写真を撮ったり、海をながめたり、千羽海崖の前に広がる太平洋がとてもキレイで心が和みました。

竜宮公園探索コースでは、幼児を連れた家族のみなさんが広い芝生の中で仲良く遊ぶ光景がみられました。

ゴール後は、ご当地の「えび一太」「あななん」と写真を撮ったり、全労済による「防災カフェ」で非常食の試食などを楽しみました。

そのあとの大抽選会では、大歓声が響き、大盛り上がり。熱気に包まれた中、イベントは無事終了しました。

今年も幼児から高齢者までたくさんの方に参加いただき、「空気がおいしくて最高です」「予想外の美しさで感動しました」などの声が聞かれました。

休日のひととき、ゆとりある1日になったのではないのでしょうか。



11/10

キウイ収穫体験祭り

- と き 11月10日(土) 10:00~
と ころ 佐那河内村果樹オーナー「キウイ園」
主 催 徳島中央ライフサポートセンター
協 賛 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会、徳島県労働者福祉協議会
四国労働金庫徳島営業本部
問合せ先 ☎088-623-4105

参加費 一人300円
参加人数 114名(幼児、スタッフ含む)
概要 「県民と働く者のとくしまフェスタ2018」の一環として、県民の皆さんが家族



やグループで楽しめる「キウイ収穫体験祭り」を行いました。

9月10日(月)から10月10日(水)まで当センターのホームページや電話やFAXで参加者募集を行い、募集人員100名のところ359名の応募がありました。10月11日(木)厳正な抽選を行い110名の当選者を決定しました。

11月10日(土)の当日は、秋晴れの好天に恵まれ、114名(幼児、スタッフ含む)と多くの方が参加されました。

オープニング式では、徳島中央ライフサポートセンター宮本会長から「素晴らしい天気にも恵まれ、キウイもたくさんなっています。けがをしないようにキウイ収穫を楽しんで下さい。」とのあいさつの後、「キウイ収穫体験祭り」が始まりました。

参加者の皆さんは、大きなキウイや沢山生っているキウイの木の下へ。小さな子どもも保護者の方に抱えられ一生懸命キウイを摘み取っていました。籠が一杯になると神社の前で持ち帰りのビニール袋にキウイを詰めます。山盛りにしてキウイがゴロゴロ落ちる人もいました。受付と同時にスピードくじも行い大人も子どもも楽しい一日を過ごすことができました。また、オーナーの方が、地元で取れた椎茸、ネギ、みかんなどを直売しており、参加者のみなさんも買っていました。



11/11

ゆとり・癒しのウォーキング —紅葉と温泉の祖谷溪谷—

と き 11月11日(日) 8:00~18:00
と ころ 三好市池田町・西祖谷山村
主 催 徳島西部ライフサポートセンター
共 催 連合徳島西部地域協議会、四国労働金庫池田支店・
鴨島支店、全労済徳島推進本部
協 力 三好市
問合せ先 ☎0883-72-8611
参加費 無料
参加人数 106名
概 要



11月11日(日)に「第12回ゆとり・癒しのウォーキング〜紅葉と祖谷の温泉溪谷〜」を開催しました。秋晴れで暖かく、ウォーキング日和でした。観光シーズンということもあり、車の通行量も大変多く、また人出もたくさんありました。

ウォーキングは10kmと3kmの2つのコースがあります。10kmコースにも小学生や幼児の参加があり、最後まで一生懸命に歩き、見事ゴールしていました。どんぐりをたくさん拾ってお裾分けしてくれる子どもさんや、設置したアンパンマンシールをお目当てにしてくれる子どもさんもいて、楽しそうに歩く姿が印象的でした。また、大人の方々も紅葉の写真を撮影したり、景色を眺めながらウォーキングしていました。

ゴール後は、かずら橋や周辺の散策、モノライダーや温泉などで楽しんでいただき

ました。また、ふれあい公園に隣接するフォレストアドベンチャー・祖谷でロングジップスライダーに挑戦した参加者もいました。ロングジップスライダーは、祖谷川の絶景を眼下に望みながら空中を飛んでいきます。感想をきいてみると「楽しかったあ〜」とお話してくれました。スリル満点ですが、爽快感もあるようです。

秋の祖谷をみなさん思い思いに楽しんでいただけたようで、日々の疲れも取れ、癒しの一日になったのではないのでしょうか。



12/10

第26回労働者福祉メーデー

と き 12月10日(月) 18:00~19:00
 と ころ ヒューマンわーくびあ徳島大ホール
 主 催 徳島県労働者福祉協議会
 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
 問合せ先 ☎088-625-8387
 参加費 無料
 参加人数 95名
 概 要 *第26回労働者福祉メーデー宣言採択



提案：林 善章徳島労福協専務理事
 *基調講演：「働き方改革関連法のポイントについて」
 講 師：連合本部労働法制対策局長 富高 裕子 氏
 (1) 「働き方改革関連法」の全体像
 (2) 労働基準法改正について
 (3) 同一労働同一賃金の法整備について
 (4) 2019春季生活闘争の取り組みについて



2019/3/10

2019ふれあいファミリーデー

と き 3月10日(日) 10:30~15:30
 と ころ あすたむらんど徳島
 主 催 県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会
 共 催 あすたむらんど徳島
 問合せ先 ☎088-625-4105
 参加費 無料
 参加人数 824人(あすたむらんど徳島入場者数1,077人)
 概 要 <午前の部>

- | | |
|----------------|---------|
| ① 開会挨拶 | 10時30分~ |
| ② 連合徳島活動紹介 | 10時40分~ |
| ③被災地支援大抽選会 | 10時50分~ |
| ④キャラクターショー第1部 | 11時30分~ |
| ⑤キャラクターとの写真撮影会 | 12時00分~ |

<午後の部>

- | | |
|------------|---------|
| ① 開会挨拶 | 13時30分~ |
| ② 連合徳島活動紹介 | 13時40分~ |
| ③被災地支援大抽選会 | 13時50分~ |

④キャラクターショー第2部 14時30分～

⑤キャラクターとの写真撮影会 15時00分～

県民と働く者の徳島フェスタ実行委員会、連合徳島、徳島県春闘共闘会議は2019年3月10日、あすたむらんど徳島で、2019 Syunto ふれあいファミリーデーを開催した。

本年度は天候が悪く、ジャンボパラソルでの開催となったが、連合徳島各構成組織の組合員や家族など824人(あすたむらんど徳島の入場者数1,077人)が参加した。

開会にあたり主催者を代表して、連合徳島森本会長から「2019春季生活闘争は、『今こそブレイクスルー！すべての労働者の処遇改善と働き方の見直し！』をスローガンに、政策・制度実現と労働諸条件改善に取り組んでいる。徳島県では中小企業で働く労働者が多く、非正規雇用労働者として働く方々の処遇改善は、経済を自律的に成長させるためにも不可欠である。職場で安心して働ける環境を築き上げるためにも、連合活動にご理解いただきたい。36協定に関するアンケートクイズにもご参加をお願いする。」と挨拶。

続いて、連合徳島の活動紹介として、「アクション36」の映像と、連合徳島青年委員会による36協定に関するアンケートクイズとアクション36の飴を配布。

被災地支援大抽選会では、昨年の西日本豪雨で被害があった、愛媛県宇和島市の物産品である「デコボン」を景品にして、当選者70人に手渡された。

仮面ライダージオウショーでは、楽しみにしていた大勢の子どもたちの歓声がジャンボパラソルの会場に響き渡り、写真撮影会では家族との楽しい思い出を残すことができた。

労働相談コーナーでは、2件の相談(雇用保健の加入・労災の認定)があり、綿菓子・ドリンク販売コーナーでは女性委員会、青年委員会が対応。他にも特定非営利活動法人 Creer のご協力をいただき、うどん・おむすび等の販売が行われた。



11月18日(日)は家族の日

11月11日(日)～24日(土)は家族の週間